

平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「古典B」 (桐原書店)						
副教材等	カラー版新版国語便覧 (第一学習社)、センター試験国語過去問題総合版 (尚文出版)、大学入試国語頻出問題 (いいずな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・3年生では三年間の国語の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理のかつ柔軟な思考力のもととなる国語の力をしっかりと身に付けましょう。

・自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

・授業で扱う作品の語句調べはもちろんのこと、日頃から読書をこころがけ、その際、辞書を引く習慣も身につけましょう。

2 学習の到達目標

・様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。

・様々なテーマを扱った評論に数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的な思考力を育成するとともに、柔軟な思考力を養う。

・明治から同時代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と人間性を養うとともに、言葉に対する感性を磨く。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの 評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	B	c	D	e		
1学期	評論	教材: 『『贈り物』としてのノ ブレス・オブリージュ』(内田樹)	○	○		◎	○	a:筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を再確認しようとする。 b:文章を読んで自分の考えを互いに発表しあって、考えを深める。 d:文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	小説	教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。 b:作品を読んだ感想を互いに発表しあって、理解を深める。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深める。 d:・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考える。 e:文語体や難解な語句を的確に理解する。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「文明と文化の教育」 (山崎正和)	○	○		◎	○	a:筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を再確認しようとする。 b:文章を読んで自分の考えを互いに発表しあって、考えを深める。 d:本文での意味を正確に読み取り、物の見方、考え方を深める。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	○		○	◎	○	a:具体例の提示の仕方と考察の進め方との関係、全体の構成をとらえ、評論文の特徴について理解しようとする。 b:文章を読んで自分の考えを互いに発表しあって、考えを深める。 d:言葉と世界の成り立ちの関係を説く哲学的な課題を読み解き、抽象度の高い論理を理解する。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

2 学 期	小説	教材： 「離さない」 (川上弘美)	○	○	◎	○	a:筆者独特の表現を読み味わい、現代小説に興味を持とうとしている。 b:読後感を互いに発表しあう。 d:舞台となる情景、人物の心情の推移を的確にとらえる。 e:筆者独特の表現や文体を理解する。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材： 「風景はどのように立ち現れるか」	○	○	◎	○	a:自由な発想や豊かな想像力にあふれた評論を読み、固定化したものの見方を省ようとする。 c:要旨をまとめ、筆者のものの見方考え方をとらえる。 d:・風景は文化現象であるという筆者の考え方を的確に理解する。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材： 「日本文化の三つの時間」(加藤周一) 「無常ということ」 (小林秀雄)	○	○	◎	○	a:定番の評論を読むことを通して、筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を再確認しようとする。 c:文章を読んで筆者の意見を要約し、自分の考えもまとめる。 d:文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 e:評論独特の抽象的な語句を的確に理解する。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
3 学 期	小説	教材： 「檸檬」(梶井基次郎) 「伊豆の踊子」(川端康成) 「赤い繭」(安部公房)	○	○	◎	○	a:・名作と呼ばれる作品にふれることで、日本文学の豊かさを理解し、小説の持つさまざまな魅力を再認識しようとする。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深める。 d:登場人物、情景、心情などを読み味わい、的確に読み取る。 e:語句の意味、比喩表現などの表現技法を的確に理解し、語彙を豊かにする。また、それぞれの小説の文学史の中における位置づけも理解する。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。